

平成 24 年 10 月 9 日

各 位

モーションビート株式会社
代表執行役社長 金子 陽三
(コード番号：2497 東証マザーズ)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 24 年 5 月 9 日の決算発表時に公表した平成 25 年 3 月期第 2 四半期及び通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当予想値は監査法人による監査前の速報値であり、実際の業績は監査法人の精緻な監査による指摘により速報値と異なる可能性があることを申し添えます。

記

1. 平成 25 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,330	238	239	215	16.21
今回修正予想 (B)	1,821	△1	0	△166	△12.51
増減額 (B-A)	△508	△239	△239	△381	△28.72
増減率 (%)	△21.8	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	2,478	265	254	304	2.96

(注) 当社は、平成 23 年 10 月 1 日付で普通株式 1 株につき 100 株の割合をもって株式分割を行っております。このため、前期実績の 1 株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

2. 平成 25 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,500	600	603	545	41.09
今回修正予想 (B)	4,000	△60	△65	△250	△18.85
増減額 (B-A)	△1,500	△660	△668	△795	△59.94
増減率 (%)	△27.3	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 3 月期)	5,193	446	433	801	60.45

3. 平成 25 年 3 月期 第 2 四半期（累計）及び通期連結業績予想修正の理由

当社はモバイルに特化した広告事業を行っておりますが、スマートフォンの台頭により、現在モバイル広告市場において急激な変化が起きております。

携帯電話端末の出荷台数は既にスマートフォンが従来の携帯電話（フィーチャーフォン）を超え、平成 27 年には保有台数も過半数を超えると予想されております。

フィーチャーフォンの広告市場は、各キャリアの提供する公式コンテンツやソーシャルゲーム等、トラフィックが集中している媒体が存在していたため、当社は広告代理事業においてそれらの大規模な広告を取り扱い、またアドネットワーク事業において中小規模の広告を多数取り扱って参りました。

現在、フィーチャーフォンからスマートフォンにデバイスが置き換わる中で、平成 24 年始以来、今までフィーチャーフォンに広告を出稿していた広告主の出稿縮小・見直し等が相次ぎ、当社の広告代理事業及びアドネットワーク事業はその影響を受け、売上・利益共に予算を大幅に下回る結果となりました。

また、保有している上場営業投資有価証券につきまして、前期以前に株価をヘッジしていたことによりその大半は株価下落による影響を受けない状況になっていたものの、一部ヘッジされていない株式に関して市場の影響を受け、当初見込んでいた売上・利益が確保できなかったことも要因となっております。なお、平成 24 年 9 月末時点で全株ヘッジいたしましたので、今後株価変動による損益の影響はございません。

当期純利益につきましては、上記理由により通期で課税所得が生じない可能性が高いと判断し、昨年度末に計上した繰延税金資産 145 百万円（前期有価証券報告書上は繰延税金負債と相殺）を取り崩したことが主な要因となります。

また、配当につきましては、当社は連結当期純利益の 10%を目安として株主還元を行う方針であり、修正後の予算では配当を実施しないことも想定されるかと思いますが、今回は当初予定通り、中間 1.6 円、期末 2.4 円、通期で 4.0 円の配当を実施する予定であります。

現在、フィーチャーフォンからスマートフォンへモバイル広告市場がシフトする変遷期であり、フィーチャーフォンの広告出稿が減少する一方、スマートフォン広告市場は、(株)富士キメラ総研公表の資料によると、平成 23 年度は全体の 3 割（約 360 億円）でしたが、今年平成 24 年はフィーチャーフォンを超え全体の 5 割超（約 650 億円）となる見通しです。

当社は本年 4 月よりスマートフォン広告市場における新たな広告手法として注目されている RTB (Real Time Bidding : 広告を入札形式でリアルタイムに売買する仕組み) を開始し、国内で初めて RTB 対応したことから、スマートフォン広告市場で認知され、広告プラットフォーム事業の売上も順調に伸びてきております。

市場が成熟する前の現段階で継続して投資をし、今後飛躍的な成長が期待されるスマートフォン広告市場で、国内 No. 1 のシェアを獲得することが当社の将来にとって最も重要だと考え、引き続きシェア獲得に向けて邁進してまいりたいと思っております。

■本リリースに関するお問い合わせ モーションビート株式会社

IR 担当 Tel : 03-6821-0008 Email : ir@motionbeat.com